

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成30年度第3回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成31年3月15日(金) 14:00 から 16:00
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）7F 白根
III. 参加者：木村委員長、遠藤副委員長、志田委員、深谷委員、鈴木委員、山田委員、毛利委員、
中原委員、畑田委員、牛島委員、齋藤トバイター
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. ICT活用コースの振り返り

- ・ ジャーナル開催報告及びアンケート結果から振り返りを行った。
- ・ 各大学からの発表と施設見学が良かったとの感想が多かった。感想・意見は次回開催に活かすことが確認された。

2. 基礎講習コースの開催方針検討

今年度の開催は、7月10日～12日に浜名湖で開催することを確定した。開催に向けて以下のような意見があった。

- ・ 課題解決まで至らないが解決しやすいテーマを選びがちではないか。例えば、共通テーマで考えさせてはどうか。
- ・ 議論をとことんさせること、考えたプロセスを大切にすることも重要ではないか。
- ・ グループの構成では、話しやすさへの希望もあるが、アイデアや見方など多様性を持たせることを優先することが良いのではないか。
- ・ 現場では一つのプロセスを解決させる経験がないことから、解決案を出して提案を評価する中で経験させる。
- ・ 2泊3日で問題発見から提案・発表の流れについて、PBLとしてトレンドのテーマで2・3時間考えさせ、その後テーマを変更すること、また、テーマを絞って議論させることなど構成を考えてはどうか。
- ・ 情報化講習会としているため、限定されている印象がある。または、教学マネジメントにどのように関わるかなどの範囲で考えられないか。
- ・ 情報化については、メリット・デメリットを説明した方が良いのではないか。
- ・ 「教育のプラットフォームを考える(仮)」を説明し、その中に、どのようなものが必要で、どのようにすることが求められるのか考えさせ、それぞれが抱えている問題をプラットフォームで解決することを考えさせられないか。
- ・ 自発的人材育成をグループで問題発見・解決のプロセスで検討できないか。
- ・ 学修成果の可視化、教学マネジメント、業務改革の3テーマに関して情報提供を行い、グループ討議させる構成ではどうか。
- ・ 3テーマの別れ方は、希望テーマに参加する運営との意見があったが、希望したテーマに参加できなかった場合、テーマ別の人数、議論方法で課題が多いことから、委員側で組分けした班・グループ内で課題・テーマを討議させ提案することにした。

VI. 今後のスケジュール

- ・ 次年度の5月には委員会を開催し、開催要項を確定することとした。